

金属団地ニュース





ナゴヤドーム観戦ツアー開催



9月9日(土)、中日ドラゴンズ×広島東洋カープのナゴヤドーム観戦ツアーを開催しました。

金属団地の恒例行事となりましたこのツアーに11社69名が参加し、中でも子供の参加者が21名と大幅に増え大変賑やかとなりました。

事前に割り振られバスへ乗り込み、大型バス2台でナゴヤドームへと向かいました。

尚、出発前の乗車人数・チケットの確認、大人用・子供用のお菓子の配布、車内アナウンス等々お手伝いをしてくださった青年部のお二人には感謝申し上げます。

試合開始の1時間以上前には到着し、この日は「チアドラデー 20th」ということでナゴヤドーム1～2ゲート付近に「Dステージ」という特設ステージを組み、華やかなパフォーマンスが繰り広げられており、たくさんの人で賑わっていました。

またドーム3階1塁側には、昨年に新設されたドラゴンズワールドがあり、歴代選手たちのエピソードなどを紹介するパネル型展示エリアのドラゴンズミュージアム、ちびっこ用ボールプール・ボルダリングなどのキッズエリア、そして外野フェンスの体感やスピードボールチャレンジなどのアトラクションエリア、試合以外にも楽しめるエリアがたくさんあります。

指定の座席はバックネット裏のパノラマ席。そして目につくのが、今シーズンから導入された大型ビジョン「106ビジョン」は、さすがに目を引く大きさとで圧倒されます。画面も綺麗になり、迫力のオープニング映像、写しだされる選手の情報量も増えました。しかし、イニング間においては代わり映えないのももう少し工夫が欲しいところです。

さて、広島ファンで赤いナゴヤドームと化した中、子供たちの応援は選手に届いたのか。結果については青年部ページをご覧ください。

ご家族や会社の仲間と交流を深める機会としてこのツアーをご利用いただければ幸いです。次頁に参加された(株)杉山の外国人実習生の感想を載せておきます。参加された皆様お疲れさまでした。



Di malilimutan Sandali (忘れられないひと時)

2017年9月9日 토요일 나고야에서 드래곤즈와 커브의 게임에 갔습니다. 저는 2개월이었습니다. 나고야돔에는 이미 전에 오셨던 분이 아카이후쿠를 입고 있는 것을 보았습니다. 커브의 팬입니다. 드래곤즈의 팬은 한 번쯤은 보았기 때문에ドキドキ했습니다. 그래서 저희는 드래곤즈의 뮤지엄에 갔습니다. 그 후 게임은 곧바로 시작되었습니다.



さいしょはドラゴンズのほうがかっているからめっちゃめっちゃうれしいです。でもとちゅうからちょっとかなしくなってきました。そしてカーブが勝ちました。それでもさいごまでわたしたちドラゴンズのファンはたのしく見ながらおうえんしました。フィリピンかえってもわすれないぐらいたのしかったです。

(株)杉山 フィリピン人実習生 アレクサンダー

衛生大会プレパトロールの実施

9月19日(火)の8時30分より衛生大会プレパトロールが金属団地内で行われました。このプレパトロールで指摘を受けた箇所については、10月2日の衛生大会までに改善を行います。



消防訓練開催

金属団地自衛消防隊による消防訓練が、9月20日(水)の正午より開催されました。今回はMTK(株)第五工場敷地内にあります防火水槽を使つての放水訓練を行いました。



9月度月例会開催

9月25日(月)の正午より組合研修センター3階の集会室にて9月度月例会が開催されました。今回は講師に岐阜県立国際たくみアカデミー 加藤款哉氏と、岐阜県職業能力開発協会 下出隆文氏をお招きし、『岐阜県における中小企業向けの人材育成について』をテーマにご講演いただきました。





名古屋ドーム観戦ツアーに参加

9月9日、毎年恒例・ナゴヤドーム観戦ツアーに青年部2名がお手伝いのため参加しました。今年の参加者数は69名。ドラゴンズの成績が低迷しはじめた2013年から参加者も減ってしまいましたが、去年よりはかなり増えていて、弱くても応援してくれるドラゴンズ愛にあふれる方は一定数いらっしゃるんだなあと感じます。

さて、今年もペナントレースは大方の予想通りの展開となっておりカープが独走、ドラゴンズもすっかり定位置のBクラスに落ち着いている中でのツアー開催となりました。半月ほど前にカープにマジックナンバーが点灯し、「目の前で胴上げされてしまうんじゃないか」「すでに優勝が決まって消化試合になるのでは」という心配もありましたが、結局はマジックナンバーが一桁に減りカウントダウン真っ只中、破竹の勢いで優勝にひた走るチームとの実力の差をみせつけられることになりました。カープファンのテンションもMAXで、客席の半分は真っ赤、どっちがホームなのやら……。

試合の様子は、青年部唯一のカープファンである高橋記者から伝えてもらいます。

連覇だ！吹き荒れる赤い嵐！！

「強い風は止められない、どのチームにも……」

9月4日、5日と連夜のサヨナラ負けを喫した阪神金本監督は満身創痍の表情でそう呟いた。

9月に入ってから負け無し、最強赤ヘル軍団は地元広島で2位タイガースにも3連勝して虎の猛追を振り切り、6連勝でナゴヤドームを強襲していた。

我々が訪れたのはドラゴンズとの3連戦の2戦目。前日はエースに成長した藪田の見事な完封勝利、今日も連勝に期待したい。左打者を並べる狙いがあったのか、或いは経験を積みさせる為なのか、普段は代打代走要員の選手が何名かスタメン起用されていた。

先発ピッチャーは岡田。序盤からコントロールがいまひとつで四球でピンチになって味方の失策で失点する苦しい展開。やはり普段控えの野手は守備力が不安である。しかし4番松山を筆頭に打撃は好調で、どうにか中盤まで2点差で喰らいつくと7回には岩本の1号3ランが決まり逆転に成功！貴重なスタメン機会に最高の結果を出すことが出来た。逆転後は中継ぎ陣がしっかり抑え、終わってみれば9-5で快勝！



37年ぶりとなるリーグ連覇のチームはやはり強かった。次は日本シリーズにて昨年は果たせなかった日本一を奪い取って頂きたい。がんばれカープ！

広島番記者 高橋正光

広島東洋カープ。ちょっと前まではハッキリ言わせてもらおうと「安パイ」でした。まず勝てると。対戦成績を調べてみました。落合監督が就任した2004年から高木監督の1年目2012年までの9年間、すべて勝ち越していました。中にはダブルスコアなんて年もあり、9年間でカープ相手に積み上げた貯金はなんと51。毎年平均5～6は勝ち越していたことになるので、印象どおり本当に負けてなかったんですね。それが逆転された時からドラゴンズはAクラスに入れなくなり、去年と今年は負け越しの合計が驚愕の18！・・・絶望です。年間5つ勝ち越しですら負ける気しなかったのに。カープから見たら今のドラゴンズはまさにカモでしょう。まあ、カープさんは15年もBクラスでもがいていたんです。30年ぶりの黄金期を迎えたファンが喜びを爆発させるのも当然だと思います。

しかし！この世は諸行無常、盛者必衰・・・。いつかまた強いドラゴンズが戻ってきて、再び3台か4台のバスで皆さんとドームに行ける日が来るのを、ぼくは夢見ています。



「オークション日和」

ここの所、悠々自適なりタイヤ組の方々とゴルフをする機会が増えました。彼らは昔ならしたシングルの方々に、一緒にプレーするといろいろ勉強になります。その日もハーフプレーを終え、昼食を取りながらの雑談での会話で、A氏が、“わしも、70を過ぎたらボールは飛ばんようになったし、芝目は見えんようになった。それよりも、あそこが痛い、ここが痛いと言った事を聞かんようになった。先輩もゴルフ場で見かけんようになったし、わしもゴルフ出来んようになったら、何もすることあらへんなー”と呟くと、B氏が、“そう言えば〇〇さん、最近見いへんなー”と相槌を打つ。すると、A氏が僕に向かって“君なー、友達も居らん様になるで、1人でできる趣味は持ってたほうが良いよ”と、アドバイスを頂きました。そうこうしてる間にスタート時間が近づき“ほな、行こか”ともうハーフプレーを行いました。結果は“まだまだやなー”で片付けられてしまいました。なかなか勝てません。しかし、僕の頭に残ったのは、“1人でできる趣味”と言うフレーズでした。僕はそもそも20代まで絵描きになりたくて真剣に苦悩していた時期があり、30にして筆を置き、社業に専念する道を選択しました。しかし、いつの日かもう一度真剣に取り組みたいという思いは、今も胸の奥にはしっかり仕舞っています。しかし、ここ何年も絵画を見る事もなく、美術館に足を運ぶことは10年以上なかったことに気が付きました。ここで、興味を惹いたのは、最近の日本画壇の動向と世界のアートシーンはどうなっているのだろうか?思わず、インターネットで検索いたしました。すると、日本では俄かに写実主義が再認識されており、スーパーリアリズム・ニューリアリズムと称される絵画は、写真と見違えるほどリアルで、千葉県ホキ美術館は、近代リアリズム作家に特化した美術館で、象徴的な存在であることを知りました。そしてネット上で検索した作品は、余りにもリアルで、どうやって描いているのか判らなく、不思議で手に取って見たいと言う衝動に駆られました。しかし、近年は大変便利なもので絵画を購入する手段としても、インターネットオークションというシステムがあります。早速にログインし眺めていると、僕の興味を惹く絵画が数点アップされておりました。しかし、僕は1980年代から1990年代初頭の抽象・ニューペインティングの知識は少々有れど、昨今のリアリ

ズム作家の知識は皆無に等しく、掲載されている作家名は知る由もなく、それを調べるのも楽しい作業となりました。初めに購入したのは大城真人の風景画“レマン湖の畔”、港信夫の静物画“柘榴”、バルデイス“樹”など、どれも素晴らしい作品でした。しかし、手に取った瞬間は、感動より、どうやって描いているのかという懐疑心と探究心に襲われました。と同時に、再び筆を持つ時には、これらを参考にしながら静物画に挑戦したいと思いました。その後もオークションの検索は、飽きる事なく続いているのですが、ここで気付いた事があります。僕が20代の頃、憧れた作家の作品が意外に安い、特に実感したのが大沼暎夫の作品です。大沼氏は、キュビズムを継承した半具象半抽象の代表的作家です。島田章三氏と親交が厚く、彼の妹を奥さんとし、義兄弟の間柄で、作風も共通点が多いのですが、大沼氏の作品の方が、優しさと温もりをより感じ、僕が大好きな作家の1人です。その大沼氏の100号の大作“黄色い人”が当初、最低落札価格100万円で掲示されていたものが、オープンプライスに変更されていました。僕は、思わず入札し、接戦の末落札いたしました。落札額は20万1100円です。ここで、経営者の側面が現れ、原価計算してみると、100号のキャンバス4万円程度、額縁が15万円は最低するでしょう。そして、絵の具代と絵を描き上げる時間と労力、何よりも技術の鍛錬に費やした努力と才能を考えると、如何にも安いと思いました。そして、早々に出品者に連絡を取り、送料を確認後入金をいたしました。しかし、それからが大変で、後日出品者から連絡が入りました。“送料の入金も確認いたしました。しかし、それからが大変で、後日出品者から連絡が入りました。“送料の入金も確認いたしました。しかし、それからが大変で、後日出品者から連絡が入りました。どうしたらよろしいですか?”と言われましてもどうしようもなく、“他に送れる方法をご検討願います”と返信すると、先方からお電話を頂き、やり取りをいたしました。その声は、大変落ち着いた品の有る優しい声でした。作品は、各務原の西濃運輸集積場まで配送し、自宅までの運賃はこちらが負担する事となりました。

すると、先方からのメールが入りました。“時間指定をされた方が良いかと思えます。作品が大きいく重いので、2人以上の人員確保が必要かと思えます” どんだけ重いんだ。と疑心暗鬼に作品の到着を待つ事にしました。到着してみると、その大きさは予想以上で、玄関に上げるのが精一杯で、そこから微動だにしません。幾重にも梱包している包装紙を裁断し、ようやく化粧箱がお目見えいたしました。箱の端から作品を引きずり出すと黄色い保管袋に入っており、袋ごと1/3程引きずり出し、袋を捲ると素晴らしい作品が現れました。しかし、全て取り出してしまうと、再度収納が出来ない恐怖感に苛まれ、早々に収納いたしました。現在3か月経過いたしました。全貌は確認できていません。後日先方からメールが入りました。

“この作品は当時、日本橋三越の取り扱いの作品で、某美術館に搬入されるはずが、色々と経緯があり、画商に流れ、現在は私宅に鎮座している由緒正しき作品です。私どもも高齢になったため、手放す決心をいたしました。存分に楽しんで頂ける1品であると自信を持ってお勧めいたします。”と書かれていました。ネットオークションは、とかく偽物が多いと言われ、僕が購入した作品の中にも、偽物があると思えます。しかし、若かりし頃、憧れた作家の生きた時間を肌で感じた瞬間は、真偽は別としての僕の中に眠っていた思いと共鳴した瞬間でした。

タンパク

岐阜県金属工業団地に“若者”を呼び込む一方策のご提案! その3

若者の“再チャレンジ”の道を拓く

新規に就職した若者の早期離職率(3年以内離職率)の高さが話題になって久しいのですが、市内や県内、愛知県等の事業所の現状はどのようになっているのか調べてみました。調査対象は、平成28年度に岐阜県内の工業高校の生徒が就職した県内外含めた175事業所の平成25年度から27年度の新規高卒就職者(入社3年目から1年目)です。内訳は、市内が26事業所、岐阜・西濃地区が86事業所、愛知県が54事業所、愛知県以外の県外が9事業所です。

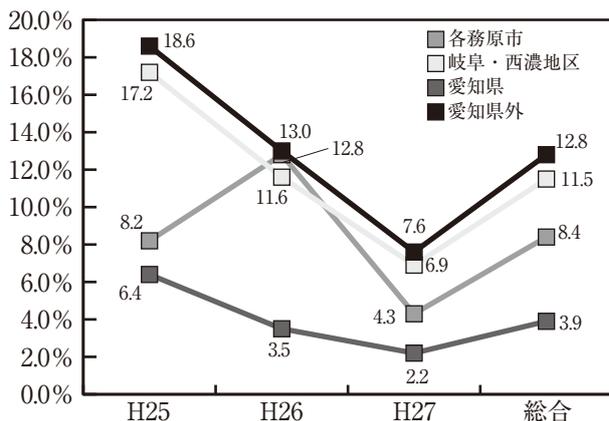


図1 地区ごとの年度別離職率

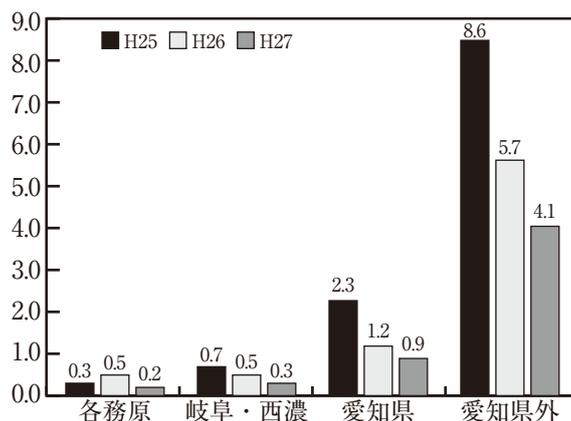


図2 1事業所当たりの離職者数

市内事業所の入社3年目の離職率は8.2%と、岐阜・西濃地区の17.2%、愛知県以外の県外18.6%と比較して低いのですが、2年目、1年目と合わせると23名が離職しています。また、愛知県の事業所では、3年以内離職率が6.4%と低いのですが離職者数は122名となっており、これに入社2年目、1年目を加えると232名が離職しています。就職先を決めるにあたって生徒達は、事業所からの求人票やパンフレット等で企業情報を調べたり、企業見学を行って自分の目で職場の様子を確認しているのですが、ミスマッチは防ぎきれていないのが現状です。事業所にとっても、新入社員研修が終わり、これから戦力となって仕事をして貰おうというときに退職されるということで、事業活動への影響は小さくはないと思います。

高卒の早期離職者は、次の職をどのように探しているのでしょうか?岐阜県高等学校教育研究会工業部会(事務局:岐阜工業高校内)の調査では、大半の離職者が次の事業所で“正社員”として職を得ており、再就職先を探した方法としては、高校時代の友達の紹介や恩師(学科主任・担任)への相談、ハローワークの求人情報によるものがトップ3となっています。

少子化の進行で、今後、若者の採用が益々厳しくなることが予想される状況の中で、市内の事業所にとって早期離職した若者は、大きな求人ターゲットになりうるものです。また、一度就職はしたものの、様々な理由により早期退職をした若者に正社員として就職をする“再チャレンジ”の道を拓いてあげるのも大切なことだと考えています。岐阜県金属工業団地の事業所の皆様は、ハローワークに求人票を提出し、これらの若者の採用活動を積極的に展開されています。この求人活動をより効果的に行うために、各事業所個々の求人活動から岐阜県金属工業団地全体の「組織的な求人活動」の展開について提案させていただきます。

岐阜県金属工業団地協同組合のホームページのサイト内に『無料職業紹介システム』を開設し、組合の各事業所は「求人企業情報ページ」に「求人情報」を掲載、早期離職した若者は「求職者情報ページ」に自己の「求職情報」を掲載、両者がこのページを閲覧し、求人・求職の条件に合致する企業・求職者が見つかった場合に“メール”で連絡を取りあって「採用試験」を行い、“採用・就職”に繋げるシステムです。近隣では、豊橋商工会議所がこのような“無料職業紹介所”を運営しています。また、長崎県立長崎工業高校同窓会が、同会のホームページ内で「無料職業紹介マッチングサイト」を運営しています。このようなシステムの詳しい情報を収集して、更に詳細な“求人・求職マッチングサイト”のご提案を次号以降で、させて頂くことができればと思っています。

(文責:産業活力部商工振興課 雇用全力応援室長 長屋 千秋)



俺んたのまち ～地域を代表する存在 FC 岐阜～

2017年10月1日(日) 長良川競技場15時00分キックオフ

FC岐阜、ホーム初の「名岐ダービー」

J1で優勝したことのある名古屋グランパスとJ降格・運営危機のあったFC岐阜が長良川競技場で対戦。ホームで初めて実現した“名岐ダービー”注目の一戦に、クラブ史上最多の1万7027人が詰め掛けた。

10年前…夢こそ思えばそれが現実になるとは…思いもよらなかった。

『地元の愛着「J制覇」～FC岐阜、観客満足度ランク1位～』

7年前、眠い目をこすりながら、コーヒー片手に新聞の番組欄をめくるといきなりこのフレーズの活字に目を奪われた。

「Jリーグの中で地元から最も愛されたクラブはFC岐阜!」

Jリーグが各クラブのホーム試合で実施した観戦者調査で、FC岐阜がサポーターのクラブへの愛着度を表す「ロイヤリティ」ポイントで、J1、J2の36チーム中(当時)、1位となり、FC岐阜は2008年調査の26位から一気に順位を上げ、前回調査1位のJ1川崎フロンターレをも抑えてトップに立ったという記事だった。当時からFC岐阜をサポート(応援)する者としては大変うれしいことではあったが、《本当にFC岐阜は地元から愛されているのだろうか?》しかしこれは、スタジアムに足を運んだサポーターたちの考え・意見であって、岐阜のまち、ひいては岐阜県全体として本当に愛されているのかは疑問だった。

当時から今でも知名度が高く、多くの代表選手を輩出している浦和は、その年(2009年)の総入場者数は75万1565人。対して岐阜は10万7557人だった。平均すると浦和が44,210人、岐阜が4,073人とおよそ1/10。しかし、当時の調査では浦和はベスト3にも入っていない。スタジアムに行く岐阜サポーターの多くは「厳しい経営状態が続く中、クラブを支えたい」との思いがあるのかもしれないが、しかし、75万人とは言わないが、せめて30、いや20万人の来場者に来てもらわないと話にならない。多くのサポーターに試合を見てもらい、名実ともに1位になって欲しい。その為にはもっともっと多くの人に『FC岐阜』のことを知ってもらい、Jリーグのこと(考え・理念)を広く、多くの人たちに知ってもらいたいと思う。

海外に行くときよく聞かれることがある。『Where are you from?(どこから来たの?)』

ほとんどの日本人は悪いことさえしていなければ『Japan!(日本!)』と自信を持って答える。どこから来たのか聞かれて、中国とか韓国とか言う日本人は間違いなくいない。何故なら日本人は少なくとも自分が日本人だということに誇りを持っているからだ。自分が日本人であることを強く意識し、日本人である自覚、誇りを持ち、と同時に他の国の文化を受け入れる。これらの「日本人であること」を自分の中で意識し、どんな場所に行ってもその気持ちを無くさない。それが日本人であることのアイデンティティ。しかし、岐阜に住んでいる者が海外で日本のどこから来たのか聞かれると「NAGOYA」と答える人が多い。「GIFU」と言って相手が理解出来ず、説明するのが面倒だということも理由のひとつだが、その大きな要因に自分の住んでいるまち「GIFU」に誇りを持っていない、持

てていないことが一因だ。以前、東京の日本サッカーミュージアムに行ったとき、FC岐阜のブースがありユニフォームなどが展示してあった。お台場のフジテレビにもFC岐阜のユニが展示してあり、当時J1、J2合わせて38チーム。そのひとつに「岐阜」があった。東京に来て(行って)「岐阜」という文字を見て感動し、涙がこぼれたのを今でも覚えている。胸が熱くなった。と同時にこれが郷土愛なんだと知った。岐阜で生まれ育ったことを強く意識し、岐阜の人間なんだと自覚した。展示してある「岐阜」の文字を見て自分が岐阜人であることに誇りを持た。Jのクラブが我がまちにあるということの誇りと喜び。これが自分の生まれ育ったまち「岐阜」なんだと。

1993年わずか10クラブでスタートしたJリーグも、翌シーズンから毎年、新しいクラブを加えながら発展していき、7シーズン目の1999年には1・2部制を導入、クラブ数は26(J1:16 J2:10)へと拡大。17シーズン目を迎えた2009年は、新たに3クラブを加えJ1、J2各18クラブの36になると、2014年にはJ3が発足し、今シーズンは54(J1:18 J2:22 J3:14)になりました。(リーグ戦ではU-23の3チームが参戦)更にはこうした活動に共鳴し、Jリーグ入りを目指すクラブや町も全国に数十あると言われていいます。そんな中、我がまちには「すでにJのクラブがある」ということが、他の地域から見たらとても羨ましく幸せなこと。でもその幸せに気づいていない多くの岐阜の人たち。とても寂しいことです。

Jリーグでは、本拠地として定めた特定の市町村を「ホームタウン」と呼んでいます。Jクラブはそれぞれのホームタウンにおいて、「地域社会と一体となったクラブづくり(社会貢献活動など)を行い、サッカーをはじめとするスポーツの普及および振興に努めなければならない」ことになっています。そして、Jクラブのトップチームは地域の誇りでありシンボル。シーズン中、ほぼ2週間に一度訪れるホームゲーム開催日には、ホームスタジアムに多くの人びとが集まり賑わい、お腹の底から大声を上げて、我がまち「岐阜」の名前を叫んで応援する。この時ほど自分たち自身がホームタウン「岐阜」を意識する瞬間はありません。地域を代表する存在だからこそ、Jリーグではチームの呼称を「地域名+愛称」としています。クラブが地域に根差し、人々に愛され、かけがえのない存在になってこそ、ファン・サポーターの心を打つことができます。自分たちが住んでいるまち「岐阜」を誇りに思います。

「喜びというのは…身近な人と分かち合うことで、減るどころか、何倍にもなる」

観客数を増やして売り上げを伸ばすためではなく、「仲間を増やし、喜びの輪を広げること」こそが本当の目的。

自分が暮らしている地域にみんなに応援できるスポーツのチームがある――。

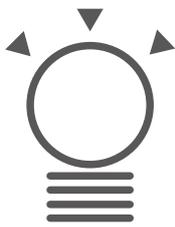
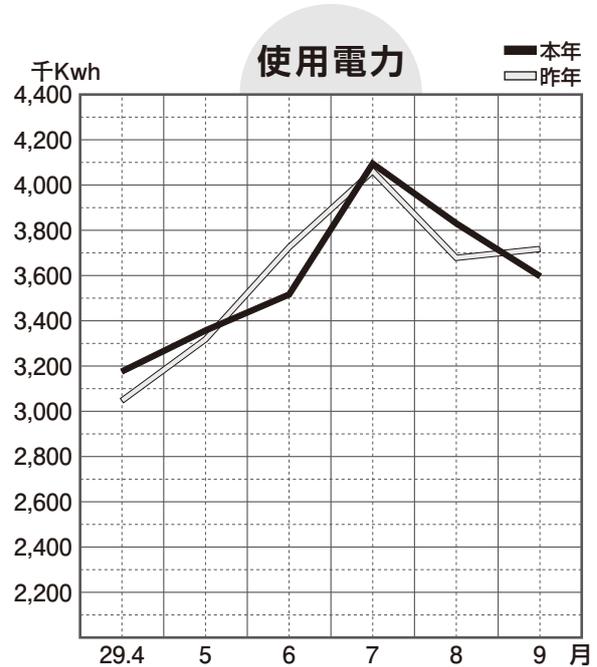
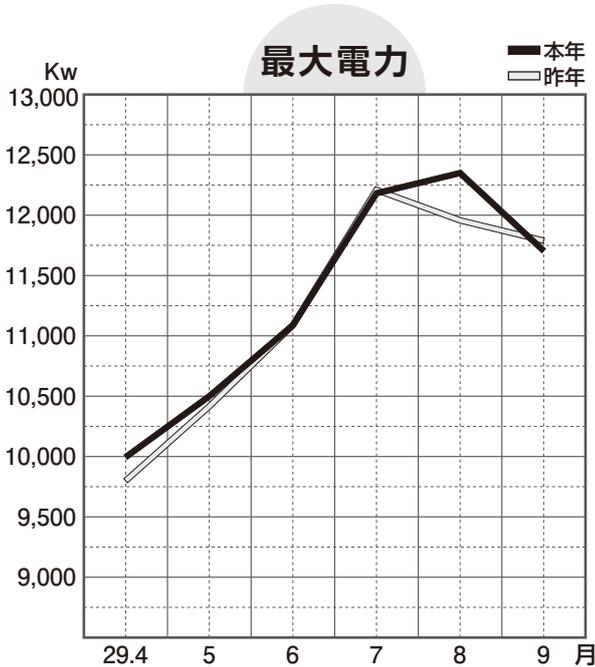
スタジアムに足を運び、その幸せを岐阜の人たちにもぜひ感じてほしいと思います。

栗くり坊主



お知らせ

平成 29 年 9 月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう!!

電気の基礎 SGマーク

SGマークとは、Safety Goods (安全な製品) の略号で、一般財団法人 製品安全協会が定めたものです。



SGマーク制度は、SGマーク製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するということではありません。

SGマーク付製品を使用中に、その製品の欠陥により、ケガなど身体的な損害を受けたときに、その原因・被害の程度に応じ、賠償するという制度です。

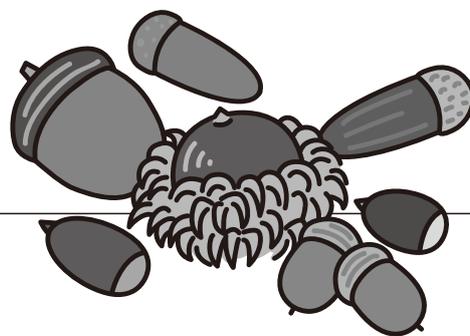
行事予定

2017 **10** October

16 月	技術情報等の流出防止についてのセミナー(県警察本部)
17 火	企業と教授の交流会 (産学金官連携人材育成定着プロジェクト推進協議会) 各務原商工会議所会頭杯 第1回部会対抗ゴルフ大会(団体戦)
18 水	平成29年度事務局専従役員研修会 (工団連中部ブロック協議会)(~19日)
19 木	
20 金	中小企業退職金共済制度説明会 (独立行政法人勤労者退職金共済機構)
21 土	『組合休日』
22 日	
23 月	青年部研修会
24 火	各務原市人権同和講演会 Kの会セミナー (中部人材育成センター・伏屋社会保険労務士事務所)
25 水	
26 木	第69回中小企業団体全国大会(長野県) (全国中央会、長野県中央会)
27 金	
28 土	ゴルフ会と青年部の合同G 『組合休日』
29 日	
30 月	役員会
31 火	タックスセミ(岐阜南法人会) 金山神社奉賛会役員会

2017 **11** November

1 水	
2 木	非正規雇用労働者待遇改善支援セミナー(伏屋事務所)
3 金	『文化の日』
4 土	『組合休日』
5 日	
6 月	青年部役員会・全体会議
7 火	平成29年度第3回理事会(岐阜南法人会)
8 水	金山神社奉賛会大祭(11:00)
9 木	
10 金	組合青年部全国講習会(全国中小企業青年中央会)
11 土	『組合休日』
12 日	
13 月	ベトナム(ハノイ、ダナン)視察研修(~17日)(県中央会)
14 火	
15 水	



■ 11月の行事予定

11月18日 団地G
11月27日 月例会、役員会

■ 9月度金属団地ゴルフ会

9月23日 美濃関カントリークラブ
優勝 森田吉久(テクノ共栄) 2位 山村容弘(山村製作所) 3位 高橋敏博(高橋鑄造所)

<http://www.g-mecca.jp>

G-MECCA

GIFU METAL ENGINEERING COMMUNITY COOPERATIVE ASSOCIATION

